

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第1区分  
 【発行日】令和6年3月12日(2024.3.12)

【公開番号】特開2022-169856(P2022-169856A)  
 【公開日】令和4年11月10日(2022.11.10)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-207  
 【出願番号】特願2021-75537(P2021-75537)  
 【国際特許分類】

H 0 1 R 1 3 / 5 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 1 R 1 2 / 7 1 ( 2 0 1 1 . 0 1 )

【 F I 】

H 0 1 R 1 3 / 5 2 3 0 1 H

H 0 1 R 1 2 / 7 1

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月1日(2024.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

【図1】本発明の第1の実施の形態による組立体を示す斜視図である。図において、電子機器のコネクタと相手側コネクタとは嵌合していない。

【図2】図1の組立体をA-A線に沿って示す断面図である。図において、電子機器の一部を拡大して示している。

【図3】図1の組立体を示す別の斜視図である。図において、コネクタと相手側コネクタとは互いに嵌合している。

【図4】図3の組立体をB-B線に沿って示す断面図である。図において、電子機器と相手側コネクタの一部を拡大して示している。

30

【図5】図2の組立体に含まれる電子機器を示す断面図である。図において、電子機器の一部を拡大して示している。

【図6】図5の電子機器を示す分解斜視図である。

【図7】図6の電子機器に含まれる防水部材を示す断面図である。

【図8】本発明の第2の実施の形態による組立体に含まれる電子機器を示す断面図である。図において、電子機器の一部を拡大して示している。

【図9】図8の電子機器に含まれる防水部材を示す断面図である。図中の防水部材は、コネクタに取り付けられる前の状態を示している。

【図10】本発明の第3の実施の形態による組立体に含まれる電子機器を示す断面図である。図において、電子機器の一部を拡大して示している。

40

【図11】図10の電子機器に含まれる防水部材を示す断面図である。図中の防水部材は、コネクタに取り付けられる前の状態を示している。

【図12】本発明の第4の実施の形態による組立体に含まれる電子機器を示す断面図である。図において、電子機器の一部を拡大して示している。

【図13】図12の電子機器に含まれる防水部材を示す断面図である。図中の防水部材は、コネクタに取り付けられる前の状態を示している。

【図14】本発明の第5の実施の形態による組立体に含まれる電子機器を示す断面図である。図において、電子機器の一部を拡大して示している。

【図15】図14の電子機器に含まれる防水部材を示す断面図である。図中の防水部材は

50

、コネクタに取り付けられる前の状態を示している。

【図 1 6】本発明の第 6 の実施の形態による組立体に含まれる電子機器を示す断面図である。図において、電子機器の一部を拡大して示している。

【図 1 7】図 1 6 の電子機器に含まれる防水部材を示す断面図である。図中の防水部材は、コネクタに取り付けられる前の状態を示している。

【図 1 8】特許文献 1 の電子機器を示す断面図である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 1】

図 7 に示されるように、本実施の形態の第 1 主接部 3 1 2 は、防水部材 3 0 0 の第 1 方向外端を規定している。即ち、第 1 主接部 3 1 2 は、防水部材 3 0 0 の上下方向における下端を規定している。第 1 主接部 3 1 2 は、第 2 方向において第 3 接部 3 3 0 と第 4 接部 3 4 0 との間に位置している。第 1 主接部 3 1 2 は、第 3 接部 3 3 0 よりも第 2 方向内側に位置している。第 1 主接部 3 1 2 は、第 4 接部 3 4 0 よりも第 2 方向外側に位置している。図 5 に示されるように、第 1 主接部 3 1 2 は、第 2 方向において開口部 6 1 6 よりも外側に位置している。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

図 7 に示されるように、本実施の形態の第 2 主接部 3 2 2 は、防水部材 3 0 0 の第 1 方向外端を規定している。即ち、第 2 主接部 3 2 2 は、防水部材 3 0 0 の上下方向における上端を規定している。第 2 主接部 3 2 2 は、第 2 方向において第 3 接部 3 3 0 と第 4 接部 3 4 0 との間に位置している。第 2 主接部 3 2 2 は、第 3 接部 3 3 0 よりも第 2 方向内側に位置している。第 2 主接部 3 2 2 は、第 4 接部 3 4 0 よりも第 2 方向外側に位置している。図 5 に示されるように、第 2 主接部 3 2 2 は、第 2 方向において開口部 6 1 6 よりも外側に位置している。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 4】

図 7 に示されるように、本実施の形態の第 3 主接部 3 3 2 は、防水部材 3 0 0 の第 2 方向外端を規定している。第 3 主接部 3 3 2 は、第 1 方向において第 1 接部 3 1 0 と第 2 接部 3 2 0 との間に位置している。第 3 主接部 3 3 2 は、第 1 接部 3 1 0 よりも第 1 方向内側に位置している。第 3 主接部 3 3 2 は、第 2 接部 3 2 0 よりも第 1 方向内側に位置している。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

図 7 に示されるように、本実施の形態の第 3 副接部 3 3 4 は、防水部材 3 0 0 の第 2 方

10

20

30

40

50

向外端を規定している。第3副接部334は、第1方向において第1接部310と第2接部320との間に位置している。第3副接部334は、第1接部310よりも第1方向内側に位置している。第3副接部334は、第2接部320よりも第1方向内側に位置している。第3副接部334は、上下方向において第3主接部332の上方に位置している。

【**手続補正6**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0091

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【0091】

10

図9を参照して、本実施の形態の第3主接部332Aは、防水部材300Aの第2方向外端を規定している。第3主接部332Aは、第1方向において第1接部310Aと第2接部320Aとの間に位置している。第3主接部332Aは、第1接部310Aよりも第1方向内側に位置している。第3主接部332Aは、第2接部320Aよりも第1方向内側に位置している。

【**手続補正7**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0092

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【0092】

20

図9に示されるように、本実施の形態の第3副接部334Aは、防水部材300Aの第2方向外端を規定している。第3副接部334Aは、第1方向において第1接部310Aと第2接部320Aとの間に位置している。第3副接部334Aは、第1接部310Aよりも第1方向内側に位置している。第3副接部334Aは、第2接部320Aよりも第1方向内側に位置している。第3副接部334Aは、上下方向において第3主接部332Aの上方に位置している。

【**手続補正8**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0139

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【0139】

30

図13に示されるように、第2接部320Cは、第1方向外側に向いている。即ち、第2接部320Cは、上下方向において上方に向いている。図12に示されるように、第2接部320Cは、防水部材300Cの弾性により、第1方向において主部610の裏面614に押し付けられて接触している。

40

50